

2022 年度
事業計画書

自 2022 年 4 月 1 日
至 2023 年 3 月 31 日

公益財団法人しまね海洋館

I 管理／運営計画の部

1. はじめに

当法人は、2000年（平成12年）に島根県が設置した、島根県立しまね海洋館の管理運営を通じて、多くの人々が日本海の自然や生態とふれあい、楽しく過ごす場を創造し、賑わいの創出や新たな民間活動の誘発により地域の活性化に寄与するとともに、水族の保護、保全を含めた豊かな海洋自然の大切さについて普及啓発をしております。

【展 示】トビウオ、サメ、ペンギン、シロイルカをはじめとする約400種 10,000点の生物を神話の海やコーラルリーフ、ペンギンプール、別館シロイルカ繁殖プールやシロイルカパフォーマンスプールなど大小54ある水槽に創意工夫を凝らした魅力あふれる飼育展示を展開いたします。また生物の繁殖や生息域内外の保全に努め水生生物の魅力を伝えてまいります。

【接 客】多くの来館者へ心こもった「おもてなし」の接客をおこない、新規顧客やリピーターの確保に努めてまいります。

【営 業】当館の魅力的な展示生物を全国や世界に発信し、集客につなげる積極的な営業活動の展開に努めてまいります。

【地域連携】地域に愛され必要とされる施設を目指し、地域の活性化に貢献してまいります。地域との連携事業を継続し、2021年度より始めた障がい者就労支援をはじめ、様々な連携を構築してまいります。

【地域貢献】島根県立しまね海洋館は「島根県西部地域の活性化」を設立目的としております。学校教育を含む社会教育、地域産業の活性化に貢献してまいります。平成12年（2000年）の開館以来、まもなく1000万人を迎えることとなり、これからも地域経済の活性化などに貢献してまいります。

【展示】【接客】【営業】【地域連携】【地域貢献】を主要事業とします。

社会教育施設という使命も持ち合わせており「生物の展示」、「教育普及活動」などを通して広く利用者へ「環境問題」や「SDGs」などの普及啓発に積極的に取り組み、水族館運営をしてまいります。

施設設備では、2021年度末に島根県主導で新たなクラゲ水槽や館内5か所にプロジェクションマッピングを投影する事業がおこなわれ、さらに魅力ある施設として運営をしております。一方、施設全体としては経年劣化が進み、合わせて水族館独特の大量の海水を使用する施設であり、その塩害による劣化の進行は想像を絶するものがあります。施設の健全な維持管理にも多くの労力や費用を投資してまいりました。波子漁港内の海水取水施設の「取水口の堆砂除去」は定期的に海中の様子を確認し適切なタイミングで浚渫をおこない、水族館の動脈である取水の安定確保に向けて取り組んでまいります。ポンプや水温調整などの飼育設備においても日々のメンテナンスをおこない、飼育生物に影響を与えることなく修繕、更新をおこなってまいります。こうした諸情勢を鑑みて、設置者である島根県において、施設の健全な保持保全と修繕費の平準化を図って行くため、2013年（平成25年）度からの20年間で約60億円を投資する「長寿命化計画」が策定され、順調に施設の改修が進行中であります。

新型コロナウイルス感染症対策として館内全域に抗ウイルスハイブリット触媒施工をおこない、また自動改札の導入により接触機会の減少、館内滞在者の把握などお客様には不安なく楽しんでいただけるよう、また職員も安心して業務ができるよう感染予防対策を十分におこない、そのうえで臨機応変な対応に努めてまいります。

2. 年間入館者について

新型コロナウイルス感染症の終息はまだ難しい状況ですが、来年度入館者につきましては、新しく導入されるプロジェクトマップングでの集客効果を見込み360,000人を目標に設定しました。職員と来館者の安心、安全を最優先に考え、感染予防対策をとりながら目標達成を目指してまいります。

(入館者予測) 有料/無料を含めた入館者予測の数字は表のとおりとなっています。

区分	2018年度 (H30)実績	2019年度 (R1)実績	2020年度 (R2)実績	2021年度 (R3)見込み	2022年度 (R4)見込み
総入館者数 (対前年比)	333,638人 (114.4%)	346,004人 (103.7%)	209,551人 (60.5%)	240,000人 (114.5%)	360,000人 (150.0%)
有料入館者数 (対前年比)	253,571人 (115.1%)	269,563人 (106.3%)	164,168人 (60.9%)	184,800人 (112.6%)	277,200人 (150.0%)
無料入館者数 (対前年比)	80,067人 (117.5%)	76,441人 (95.5%)	45,383人 (59.3%)	55,200人 (121.6%)	82,800人 (150.0%)

3. 開館計画

(1) 開館日

2022年度開館予定日数：324日 *条例上は317日

①条例で定められた休館日 については記載のとおりとなっておりますが、②に記載の7日間につきましては、来館者サービスのため開館いたします。

- ・4/30～5/2、7/21～8/31、12/28～12/30、1/2、1/3を除く火曜日。
(火曜日が祝日の場合は、翌平日)
- ・12月31日、1月1日

②条例で定められた休館日のうち、下記の計7日間来館者サービスの為に開館します。

- ・2022年4月5日、5月6日、12月27日、12月31日
- ・2023年1月1日、1月3日、3月28日

(2) 開館時間

①条例で定められた開館時間

- ・通常期(4/1～7/19、9/1～3/31) : 9:00～17:00
- ・夏休み期間(7/20～8/31) : 9:00～18:00

②上記にかかわらずゴールデンウィーク、夏休み期間など繁忙期は入館者の状況を見ながら開館時間の繰り上げや閉館時間の延長をおこなってまいります。

4. 職員体制

《2022年度職員数》 につきましては、館長以下48名体制で運営してまいります。
新たに地域の資源や課題を把握し、地域と連携した実効性あるプログラムの企画/実施ができるよう、「地域連携推進室」を新設いたします。

区 分	正 職 員		契約職員	パートタイム職員	計	備 考
	技術職	事務職				
館 長		1名			1名	・常務理事兼務 ・室長事務取扱
地域連携推進室		1名			1名	現行部署の業務を兼務
経 営 課		6名	11名		17名	
海獣展示課	7名		9名	1名	17名	
魚類展示課	6名		4名	2名	12名	障がい者雇用1名
設備管理課	2名				2名	
計	15名	7名	24名	3名	49名	

5. 職員採用計画

2022年度は、水族館施設だけでなく社会教育施設、地域に必要とされる施設としての質も落とすことのないよう、更なる飛躍に向け経営状態を見極めながら職員体制の強化及び増員を含め中長期的な採用計画を検討、策定してまいります。

6. 施設外就労

2021年度より始めた障がい者施設外就労を2022年度も継続し、施設利用者の社会進出の手助けに貢献してまいります。

Ⅱ 事業の部

1. 公益事業

(1) 接客業務事業

①接客/接遇業務体制

アクアメイト6名、接客補助契約職員3名の合計9名体制で対応してまいります。

②アルバイト

近年確保が非常に厳しい状況となっておりますが、来館者が多く見込まれる日を中心に近隣の大学や専門学校の学生を中心に幅広く募集しサービス向上に努めてまいります。

(2) 集客対策事業

集客対策事業については、春～夏の期間だけでなく秋季以降も積極的に誘致をおこない、特に冬期入館者の獲得に繋げ、年間入館者数の平準化を目指してまいります。

1) 送客誘致事業

① 送客誘致事業

エージェンต์への団体客誘致活動として下記事項を重点に積極的におこなってまいります。また首都圏（関東圏）からの誘致についても萩・石見空港や周辺団体とも協力、連携して取り組んでまいります。

- ・ 島根県観光連盟、各種協議会などが実施するエージェンต์招致事業など
- ・ 島根県東部及び鳥取県西部
- ・ 集客重点地域である山陽方面（広島、岡山）及び山口、愛媛、香川県のエージェンต์
- ・ 学校団体などの教育利用
- ・ 広島/しまね生協組合、マツダ労働組合及び私学共済などや他の共済組合/団体

② 各種観光キャラバンなどへの参加

島根県、島根県観光連盟、浜田市及び江津市観光協会などが実施する観光宣伝事業とタイアップし、積極的な訪問宣伝や街頭活動を実施してまいります。

③ 周辺施設と連携した魅力ある誘客対策

石見ツーリズムネット（2022年度予定：23施設加盟）などと連携し、魅力ある周遊型商品の開発、石見地方のご当地グルメ（神楽めし）の開発などの取り組みにより島根県観光連盟、地元観光協会及び地元行政などと協力を図るとともに首都圏とダイレクトにつながる萩/石見空港との連携による石見地域への誘客を図ってまいります。

④ 島根県立しまね海洋館公式 SNS

Facebook、Instagram、Twitter を活用し、旬な情報を提供するため引き続き実施してまいります。

2) 広告宣伝事業

新たに導入された館内5か所のプロジェクションマッピングやシロイルカによるパフォーマンス、県魚であるトビウオの通年展示をはじめ島根の海から世界の海へのコンセプトのもと多種多様な展示やきめ細かく充実した教育プログラムなどを広く宣伝し更なるアクアスの魅力と楽しさを伝えてまいります。

また、以下の重点期間/重点地域を中心に電波媒体/紙媒体/インターネットを使い、広報や宣伝に努めてまいります。

① 広報宣伝期間

重点期間

- ・ 4月中旬～ゴールデンウィーク
- ・ 7月中旬～8月の夏休み期間
- ・ 冬休み期間及び年末年始
- ・ 閑散期から春休みに向う3月中旬～
- ・ その他の期間

館内イベントや周辺施設/地域イベントの実施にあわせ相乗効果が期待できる時期

② 広報宣伝地域

最重点地域

- ・ 島根県、広島県及び岡山県を中心とする山陽方面

主要地域

- ・ 鳥取(山陰エリア)及び山口、愛媛、香川方面

その他

- ・ 萩・石見空港の東京利用者の獲得のため関東エリア

③ 主たる広告宣伝事業

電波媒体広告(テレビ/ラジオなど)としては、ゴールデンウィーク、夏休みを中心に広告展開を実施し、単にCM広告だけでなく、各放送局の情報番組や、放送局エリアでの街頭宣伝活動などとセットでキャンペーン(パブ出演)を実施してまいります。

紙媒体広告(旅行雑誌/新聞など)としては、山陰、山陽地区の新聞や有力なタウン情報誌を中心に集客時期を考慮して広告展開するとともに、割引クーポン及び読者プレゼントなどを効果的に利用し、積極的に促進に取り組んでまいります。

電子媒体広告としては、インターネットやSNSを利用した広告、宣伝を強化していきます。また、スマートフォン広告、Yahoo ディスプレイ広告を活用して集客の最重要ターゲットである子育て世代(20~40代)を中心に広告展開を実施してまいります。

3) 来場者対策事業

新型コロナウイルス感染症対策として、職員は毎日の検温、定期的な手指消毒、マスク着用はじめとした健康管理をおこないます。館内全域に抗ウイルスハイブリット触媒を施工し、来場者には入館前のサーモグラフィーによる体温測定、手指の消毒、緊急連絡先の記入をお願いしております。また館内では定期的な消毒をおこない、監視モニターで混雑状況を把握しながらお客様を誘導し3密の回避をおこない感染拡大防止に努めてまいります。

さらに自動改札ゲートの導入により接触機会の減少、館内滞在人数の把握などに努め、来場者が安心して安全に楽しんでいただけるようにしてまいります。

- ①中央広場への日よけテント設置（入館チケット購入待ち列対策）
- ②アクアス広場への日除け大型テント設置（パフォーマンス待ち列対策、熱中症予防）
- ③シロイルカパフォーマンス入場予約システム導入（待ち列対策）
- ④来館者サービスとして団扇制作
- ⑤GWなど多客日の安全対策として館内に警備員配置
- ⑥GWやお盆期間の超多客日に対応した受け入れ態勢の慎重な取り組み
- ⑦インバウンド対策として多言語音声ガイドや翻訳機の利用

4) 集客対策事業

①アクアス盛り上げよう委員会（AMI）の取り組み

3課7係の全係より募集した職員による「アクアス盛り上げよう委員会（AMI）」を組織し集客力の向上と、より豊かな水族館事業を実現するため一過性のイベントだけでなく、アクアスの魅力が継続的に底上げされるようなイベントを計画、実施してまいります。

②年間パスポート購入数/利用数を増やすための対策事業の実施

何度でも足を運んでいただけるアクアスのファンを広げるため年間パスポートの販売をおこない、特に子育て世代を中心に増やす取り組みとして、地元企業と連携した様々な仕組みの導入を進めてまいります。また子育て世代が、平日に利用していただけるように「アクアス☆ゆったり親子の会」や「ファンクラブの日」などの年間パスポート保持者限定のイベントを継続して開催してまいります。

令和3年度開催実績

アクアス☆ゆったり親子の会	19回/年（中止有）
ファンクラブの日	12回/年（中止有）

(3) 水族収集/飼育/展示事業

生物の適正な収集をおこない、生物の過ごしやすい環境をつくるため、飼育展示環境の適正な維持管理及び飼育資機材の適正購入などをおこなってまいります。

① 生物の収集

- ・シロイルカについて野生個体の導入は難しく、これまで搬出先であったロシアにおいても現在は厳しく制限されておりますが、血統管理、展示生物の確保の面から新たな血統は将来的に必須であり、新たな血統個体確保の可能性を探る観点から輸出先であったロシア太平洋水産研究所、及びロシア沿海州水族館との協力関係の構築に努めるとともに、国内の飼育園館とも良好な関係を堅持しながら協力関係を継続してまいります。
- ・ペンギン類については、キタイワトビペンギンの入手が困難なため収集の機会を逃さないよう国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集を継続

していきます。

また、オウサマペンギン、フンボルトペンギン、ジェンツーペンギンに関しては血縁関係により血統管理の面から国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集、交換などを積極的にこなってまいります。

- カリフォルニアアシカについては、当館での繁殖を進めるとともに国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら交換など積極的にこなってまいります。
- ゴマフアザラシについては、現在飼育している全ての個体は血縁関係にあり、現状では繁殖活動ができない状況であります。血縁関係のない新たな雌雄の個体の導入を進め、繁殖活動が実施できるよう国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集の機会を逃さないように努めてまいります。
- 展示生物については、近在の漁業協同組合、地元漁業者、活魚業者、他園館との連携を強め、引き続き良好な関係を堅持しながら水生生物の収集に努めてまいります。

② 生物の飼育

- 飼育生物の体調管理、環境管理に留意し健全な飼育に努めてまいります。

③ 生物の繁殖

- 飼育生物の健全な繁殖を目指し飼育環境の整備に努め、種の保存に貢献してまいります。
- 魚類展示課担当生物においては、(公社)日本動物園水族館協会の繁殖賞を5種の飼育生物について受賞しており、種の保存事業に大きく貢献しているところであり、他飼育生物についても更に飼育環境を整え1種類でも多く自家繁殖ができるよう繁殖技術の確立を目指してまいります。
- 2014年以來シロイルカの繁殖がないため積極的に取り組み、シロイルカの繁殖技術の確立を目指してまいります。
- 2020年2月28日に生まれたゴマフアザラシ(オス、愛称:だいふく)は順調に成長しております。今後は新たな血統の導入を進めゴマフアザラシの繁殖を積極的に進めてまいります。
- 2020年7月30日に生まれたカリフォルニアアシカ(メス、愛称:ニコ)は順調に成長しております。今後もカリフォルニアアシカの繁殖に積極的に取り組み、繁殖技術の確立を目指してまいります。
- ペンギン類について、順調に増えている種に関しては、当館のみの飼育数の増加だけでなく他園館との連携をとり、積極的に交換やブリーディングローンを実施し繁殖が促進されるよう環境を整えるなどして国内全体として種の保存に努めてまいります。また、オウサマペンギンはすでに国内の他園館と連携しブリーディングローンなどにより繁殖推進の取り組みを実施し、結果も出ております。今後もさらなる努力をしてまいります。

④ 生物の調査/研究

島根県隠岐の島の固有種であるオキサンショウウオ、及びオキタゴガエルの生息域調査を実施し、繁殖技術の確立を目指し域外保全に努めてまいります。また島根県指定希少野生動植物であるミナミアカヒレタビラの生息域調査を実施し、繁殖技術の確立を目指してまいります。

さらに日本獣医生命科学大学の飼育下魚類の病理組織学的研究に検体の提供協

力をおこなってまいります。また長崎大学海洋未来イノベーション機構の次世代養殖戦略会議と連携し、試料生物の提供協力をおこなってまいります。

その他の調査

- ・ウミガメ、鯨類、鰭脚類などのストランディング（水生生物の漂着）
- ・ウミガメの上陸、産卵調査
- ・島根県西部における特別天然記念物オオサンショウウオの生息調査

（4）学習交流事業

1）教育事業

《ボランティアの育成/支援事業》

当館のボランティア組織「アクアサポーター（2022年2月19日現在37名）」は、館内解説や教育事業の支援を主体とした活動をおこなっております。主催事業の補助のほか、自主活動の計画立案と実施をおこなえる環境を整え、積極的な活動を促します。また、他組織の視察や、水生生物に関する研修を企画し、活動の質を高めると共に、得られた知見を自主事業として反映させられるよう支援してまいります。さらに、一定の要件を満たした活動においては昼食などを支給し、活動しやすい環境の充実に努めてまいります。

また、引き続き新規アクアサポーターの募集及び研修をおこない、登録希望者は通年で受け入れてまいります。

《企画運営事業》

① 各種教育活動

- ◎学校団体など（子供会/他団体含む）来館時のプログラム実施
- ◎環境教育プログラムの実施（総合的な学習の時間に対応）
- ◎体験学習/教育実習などの受け入れ
- ◎学校と連携した出張授業や移動水族館の実施
- ◎幼稚園/保育園などと連携した幼児教育への取り組み
- ◎特別支援学校などと連携した教育活動への取り組み
- ◎地域の環境教育活動の支援
- ◎各種主催事業の企画/実施
- ◎地域 ESD 拠点施設としての啓発/実践活動（SDGs カフェ、いわみっこ大作戦など）

② 各種教育プログラムの作成及び情報発信

- ◎主催事業（体験スクールなど）の告知、集客用ポスター、チラシなどの作成、配布
- ◎学習プログラム紹介資料の作成、配布
- ◎学校教育利用支援のため県内小学校、中学校へ訪問
- ◎しまね海洋館活動報告書（年報）の作成、配布
- ◎しまね海洋館機関誌『神話の海から』の作成、配布
- ◎島根県自然系ミュージアムなどとの連携
- ◎県内社会教育施設や団体（美術館、科学館、教育委員会、公民館など）との連携
- ◎各種教育研修会への参加
- ◎各種教材の開発
- ◎県西部の環境教育指導者の育成とネットワーク構築、活動の場の提供

③ 教育用備品/消耗品の作成/購入

◎オリジナル缶バッジなど、教育イベント宣伝物の作成

◎出張講座など教育プログラム用解説パネルなどの作成及び備品の購入

◎教育活動用図書及び図書コーナー蔵書の購入

≪主催スクール事業≫

- | | | |
|-----------------------|----|--------------------|
| ① アクアス体験スクール（継続） | …… | 夏休みを除く月 1～2 回 |
| ② わんぱく探検隊（継続） | …… | お盆期間を除く夏休み期間 |
| ③ サマースクール（継続） | …… | 夏休み期間に 3～4 回程度 |
| ④ ハガキに描こうアクアスの海（継続） | …… | 11 月～(募集) 2 月～(展示) |
| ⑤ みんなの知らないアクアスツアー(継続) | …… | 1 月～2 月 |

2) 地域交流事業

① 地域交流イベント

例年アクアス春祭りとして開催していた地域交流イベントは、各自治体や商工会などにより同様の地域振興イベントが多数開催されるようになり、当館で担うべきイベントとしては見直しの時期にきています。県外から多くの来館者があることは当館としての強みでもあり、石見地方の魅力を県外の方に発信するための事業を、地域との連携を図りながら内容を検討して実施してまいります。

（開催内容案）

- ・地域の情報発信イベントへの参画（いわみんなど、継続）
- ・市町村の日（各市町村から PR 販売、ステージ発表など）
- ・自治体や地域グループの催事（こどもまつり、産業祭、マルシェなど）の誘致、共催
- ・水槽前コンサート/パフォーマンスなど

② 地域連携事業の推進

地域で様々な事業に取り組んでいる組織と連携し、地域を活性化させるとともに、子育て応援や子供の地域愛を育む事業をおこない、地域課題の解決に取り組みます。

- ・ JR 浜田鉄道部と連携した鉄道利用とアクアス訪問
（R3 年度試行、R4 年度事業拡大）
- ・ 県立江津清和養護学校/県立大学/NTT ドコモ中国支店と連携したリモート校外学習の実証

③ 各種地域振興イベントへの支援

地域振興イベント協賛負担金

- ・ 江の川祭り
- ・ 浜っ子祭り
- ・ はっしー広場イベントステージへの協賛（石見神楽の上演経費など）

④ 各種減免週間への対応

児童福祉週間、敬老週間、障がい者福祉週間、それぞれにおいて対象者に無料開放

をおこなってまいります。

⑤ アクアファンクラブ会員への対応

「アクアファンクラブ」会員を対象に、当館主催スクールの告知や会員限定スクールを実施します。アクアスのファンを増やし、愛される施設を目指すと共に、ファンクラブ会員の増加を図ってまいります。

◎機関誌『神話の海から』

(オリジナルアプリからのダウンロード/希望者には冊子を進呈)

◎アクアス体験スクールなどの案内 (WEB 配信)

◎会員限定のスクール開催

◎ファンクラブの日制度 (毎月 10 日、会員限定イベント開催)

◎オリジナルアプリのダウンロードにより来館スタンプの付与
(来館した回数によりオリジナルグッズなどをプレゼント)

⑥子育て支援事業への取り組み

◎未就学児を中心とした子育て家族を支援するためのイベント開催
(アクアス☆ゆったり親子の会)

3) 特別企画展事業

水族館は、展示内容の変更が容易でないという性格上、特別企画展を計画的に開催し、展示に魅力と変化をもたせております。また、単なる生物展示のみでなく、環境学習や海洋資源の保護などの学習要素を多く取り入れた内容にも取り組んでまいります。

また、2023 年度特別展の計画を立てると共に、2022 年度中に準備調査も併せて、実施してまいります。

特に秋に予定している特別展は、周辺自治体の施策 (文化振興や観光振興策など) と連携することによりアクアスをハブとした来館者の流動を起こす新たなスタイルによるものとなります。

◀開催予定▶

- ① 前年度からの継続特別展『生き物たちの落とし物 ～うんちができるまで～』
2022 年 3 月 16 日 (水) ～5 月 16 日 (月)
- ② 第 1 回特別展『水生昆虫展』(仮)
2022 年 7 月～9 月 (予定)
- ③ 第 2 回特別展『日本遺産中世益田 海の学び展』(仮)
2022 年秋～2023 年 1 月 (予定)
- ④ 第 3 回特別展『ストランディング/海ゴミ/SDGs』(仮)
2023 年 3 月 (春休み) ～5 月 (予定)

(5) 施設管理事業

1) 光熱水費管理

しまね海洋館は 2004 年 3 月に「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」に基づく第 2 種エネルギー管理指定工場に指定され、エネルギー管理員の選任及び毎年の定期報告が義務づけられています。

エネルギー (電気/ガスなど) の使用に関して適切な管理をおこなうと共にエネルギー

効率の向上をめざす中で館内照明などの LED 化を進めておりますが、現状では 30%程度の導入であります。

今後も最適な機器の選定、及び運用を考え LED 化を含め島根県と連携して省エネ機器の積極的な導入、機械設備の効率的な稼働をおこない、省エネルギーを目指し管理に努めてまいります。

2) 設備メンテナンス

水族館の飼育設備は、飼育生物の生命に直結する重要なものであり、空調、照明、展示情報、清掃などの施設管理は来館者の安全と満足度を高めるため重要なものです。

しかし、水族館の設備は海水を使用するため機器の経年劣化が激しく、塩害により耐用年数は短くならざるを得ない状況にあり、これまでのノウハウを生かしつつ、日常のメンテナンスを適切に実施し、より効率的かつ安全な管理をおこなってまいります。

《主なメンテナンス項目》

- ① 設備管理保守点検
- ② 清掃及び環境衛生管理
- ③ 中央監視装置・自動制御機器保守点検
- ④ 昇降機設備保守点検
- ⑤ 海水取水施設保守点検
- ⑥ 熱源設備点検清掃

3) 維持工事/修繕事業

2013 年度島根県において、施設の長期的な保全と利用者の安全を図るために、「長寿命化計画」が策定されました。実施期間である 2014 年度から 2033 年度までの 20 年計画（計画事業費約 60 億円）に適切に対応し、施設の維持管理に努めてまいります。

また、オープンから 20 年以上が経過し、館内の設備及び建物の経年劣化が各所に見られ、2010 年度から緊急対応修繕費を、設置者である島根県において実費清算することとなり、改善計画を立て万全を期してまいります。

また、突然の故障の際には柔軟な対応をおこない、来館者及び飼育生物への影響を最小限にとどめる努力をおこなってまいります。

4) 消防防火など緊急時への対策

2014 年 8 月より建物全体が防火対象物 16 項イ（消防法第 8 条第 1 項及び消防法施行令第 1 条）に分類されました。施設の防火対策と避難訓練などを適切に対応し、来館者の安全を第一にした取り組みをおこなってまいります。

また、緊急時に設置している AED を使用した救命活動がおこなえる知識と技術を身につけ、迅速かつ適切な対応ができるよう公園及び館内で従事する他社も含めた全スタッフに救命救急講習を受講させてまいります。

2. 収益事業

入館者の便益を図るとともに、公益事業などで水族館運営事業の一部を財源確保するために適切な収益事業をおこなってまいります。

- ① 飲料自動販売機/プリントシール機の運営管理
- ② ロゴマーク、キャラクターのロイヤリティーの管理
- ③ カプセルフィギュアの販売及びクレーンゲーム など